

(様式1)

校種	小・中	学校番号	2	学校名	宇都宮市立陽北中学校
----	-----	------	---	-----	------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

- ・ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒
- ・ 活気に満ちた、たくましい生徒
- ・ 心豊かで、思いやりのある生徒

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

校訓「聡く 強く 美しく そして、陽北中生としての誇りをもつ」を体現できる生徒

2 学校経営の理念

社会に貢献できる人間を育成するため、生徒一人一人の自らの良さや身に付けた力に気付かせ、自己有用感を高め学校を楽しく居がいのある場としたい。そして、それらを伸ばしていく指導のもとに、確かな学び、豊かな心、健やかな体を育む教育活動の充実を図る。さらに、人とのつながりの中で互いに支え合い、人に役立つことの意義が理解できる生徒を育成する。

本校の古き良き伝統と校風を守り発展させ、保護者や地域の信頼と期待に応えることにより、生徒が陽北中学校に学ぶことを誇りに感じる学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針

本校の校訓

「聡く 強く 美しく そして、陽北中生としての誇りをもつ」を体現できる生徒

「陽北地域学校園教育ビジョン」

- 「学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園」

～人と人との豊かなかかわりを通して～

〔重点目標〕◎最重点目標

- ◎互いのよさを認めあい、ともに伸びる喜びを味わえる集団づくり（生活）

- ・ 学習の基盤となる態度や家庭学習（自主学習）習慣の育成と、対話的で深い学びを通じた「思考・判断・表現力の向上」（学力向上）
- ・ 進んで運動に親しむ態度の育成（体力向上）
- ・ 思いやりの心と高い規範意識をもつ児童生徒の育成（心の教育）

- (1) 学習指導において、教師間で授業を見せ合う機会を増やし、授業実践を通じた指導力の向上に努める。また、教材やICTを効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫・改善を図る。
- (2) 生徒の自主的・自治的に活動できる場면을積極的に取り入れ、安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成に努め、一人一人の個性の伸長を図るとともに、協働して課題に取り組む態度を養う。
- (3) ○道徳教育において、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めることができるよう道徳の時間の充実を図り、すべての教育活動をとらして道徳的実践力の育成に努める。
- (4) 生徒指導において、生徒一人一人の人格を尊重し、生徒の自信や自己有用感を高め望ましい行動への意欲付けを図るとともに、生徒のResilience^{レジリエンス}《苦境にもめげずに立ち直る復元力》の向上を図り、豊かな心を育む教育を推進する。そのために、ストレスの管理、前向きに考える訓練、自己肯定感の向上、新しい人間関係を築く、問題解決能力の向上ができる場면을積極的に取り入れ指導にあたる。
- (5) すべての教育活動に、特別支援教育や教育相談の考え方を生かし、一人一人の生徒の内面や能力・環境等の的確な理解の上に、その教育的ニーズに応える教育の実践に努める。
- (6) ○小中一貫教育と地域学校園の推進に努め、重点化・焦点化した活動を展開する。
- (7) 豊かな心と主体性を育む施設設備等のハード面や、言語環境・掲示環境等のソフト面の整備・充実に努める。
- (8) ○生徒・保護者・地域住民等とのより良い人間関係を構築し、地域の小学校との連携はもとより体験的な活動の充実を図り、地域とともにある学校づくりを推進して人間性や社会性豊かで広い視野に立つ生徒を育成する。
- (9) 学校運営では、「教職員の働き方改革」の視点から、ミドルリーダーを核とした校内組織の活性化を図り、校内業務の精選化・効率化を推進していくとともに、勤務時間を意識した働き方を推進していく。
- (10) 「教職員評価制度」や「学校マネジメントシステム」、「魅力ある学校づくり地域協議会」等を有効に活用しながら、学校と家庭・地域との連携・協力を深め、教職員一人一人が情熱をもち協働して指導する。

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係諸法規・法令や学習指導要領及び県、市の教育行政の方針等を踏まえる。
- (2) どのように学び、どのような力を身に付けるのか等「社会に開かれた教育課程」を踏まえる。
- (3) 小中一貫教育を推進し、地域学校園で連携した取組を家庭や地域に積極的に発信するなど教育地域とともにある学校づくりの一層の充実を目指す。
- (4) 持続可能な社会の創り手となるよう、生徒が自分のよさや可能性に気づき自己肯定感を高めることができるよう工夫する。
- (5) 生徒の発達段階を考慮し、学習の基盤となる資質・能力や、SDGs等に係る現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を育成することができるよう、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

- ・ミドルリーダーを核とした組織の活性化とともに、校内業務の精選化・効率化を図る。

○地域と連携した諸活動の推進

（2）学習指導

- 「学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園」に基づいた教員の授業力向上、並びに家庭・地域と連携した学力向上

（3）児童生徒指導

- ・自己有用感を育てる生徒指導と個別支援の充実
- ・レジリエンスを高める具体策の実施

（4）健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

- 生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力

- ① 主体的に考え表現できる力
- ② すすんで社会とかかわり行動する力
- ③ 自他の存在を尊重し協力する力
- ④ 礼節や規律を重んじ粘り強く努力できる力
- ⑤ 教科書が正しく読める読解力

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ① 魅力ある学校づくり地域協議会との協働

◇・「陽北よさこい連」として地域の行事への参加

- ・地域とともにある学校づくりに向けた土曜授業の開催
- ・地域協議会委員と生徒が語り合う「陽北地域未来会議」の実施及び活動

◇・放課後「ようほく地域未来塾」の拡充

- ② 特色ある学校行事

- ・規律と全力の「運動会」
- ・豊かな表現力による感動の「文化祭・合唱コンクール」

- ③ 日々の学校生活で大切にしている活動

- ・笑顔のあいさつと清潔感のある身だしなみ
- ・体力の向上と美しい集団行動

- ・互いを尊重する優しさ
 - ・宮っ子ダイアリーの活用と家庭学習（自主学習）の実施
 - ・生徒会（各委員会・各部活動）による社会貢献活動
 - ・部活動への積極的参加
- ④ 教科等横断的な視点での授業の推進
- ・縦、横での関連を図り、生徒の学びを深める
- ⑤ 読書活動の充実と学校図書館の活用
- ・学校図書館教育を中心とした教科等への図書活用
 - ・みんなで一斉に行う「朝の読書」の実施
 - ・教科書を正しく読める基礎的読解力の定着
- (3) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
- ① 授業において、互いを認め合い励まし合う学習活動の中で、教材やICTを効果的に活用しながら、生徒の能動的・主体的学びを引き出す工夫をする。
- ・授業公開期間を設定し、互いに授業を参観し合う機会の充実を図る。
 - ・学校図書館教育を中心とした教科等への図書活用を図るとともに、読書活動の質的向上や学習情報の活用に努める。
- ② 学級活動や学校行事・生徒会活動の充実、部活動の推進及び地域との展開、タイム着席の実施等を通して、自ら考え判断し行動する場をより多く設け、主体的に取り組む態度や自立・自律の態度を育成し、生徒のもつ多様な資質・能力の向上を図っていく。
- ③ 宮っ子チャレンジウィーク、働く人に学ぶ、「陽北よさこい連」による地域行事への参加、各種ボランティア活動等を充実させ、自己の在り方を見つめ、よりよく生きようとする態度や地域を愛する心を育てる。
- ④ 教科指導、道徳、学級活動、生徒会活動、学校行事等横断的な視点での関連を図り、生徒の学びを深める。
- ◇⑤ 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、小中一貫教育や地域学校園の取組を進める。
- ⑥ 緑化・諸掲示・美術・音楽・言語・生活習慣等の教育環境を、教科学習・生徒会活動・学級活動等の活動を通して整備・充実していく。
- ◇⑦ 質の高い文化・芸術に触れる機会や様々な人々との交流活動等を通して、豊かな感性や思いやりの心を養う。

8 本市の重点施策・事業と関連する取組

- (1) 地域とともにある学校づくり（魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む）
- ① 基本的考え
- 教育活動の情報発信や各種学力調査等の結果データの公表、学校公開・授業参観等を活用し、本校教育の成果や課題、生徒の実態等を正しく地域に理解してもらうことに努

め、地域の人、事業所、文化・自然等を活用した教育活動を展開する。

② 主な取組

- ・情報発信（各種たより、学校ホームページ、さくら連絡網）
- ・保護者、地域参加型の学校公開（運動会、文化祭、土曜授業）
- ・魅力ある学校づくり地域協議会との協働（陽北よさこい連、教育講演会、陽北地域未来会議）
- ・地域行事への参加や学校園小学校との連携、のぞわ特別支援学校との交流学习
- ・地域人材を活用したキャリア教育（1学年：働く人に学ぶ、2学年：宮っこチャレンジ）
- ・学校ボランティアの活用（図書ボランティア、授業ボランティア）
- ・錦地区・東地区・豊郷地区まちづくり協議会との連携
- ・学区内主任児童委員・民生委員との連携

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

「学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園」のテーマのもと、重点目標を設け学校園各小中学校間の連携を密にし、児童生徒や地域の実態や傾向を共有し、知徳体のバランスのとれた教育活動を展開し、将来地域に貢献できる児童生徒の育成を目指す。

② 主な取組

◎最重点目標 「互いのよさを認め合い、共に伸びる喜びを味わえる集団づくり」

○学業指導の充実

学級活動や異学年交流活動の充実 校種間交流の推進

【互いに高めあえる学級・学校・集団づくり】

「話し合いの約束」や「授業の約束」の作成と指導

【学業指導の充実】

各期の「生活のきまり」の作成と活用 共有

【規範意識・帰属意識の高い学級づくり】

- ・学校園専門部会等の研修等の定期開催により、学校園教職員の資質向上を目指すとともに小中一貫教育における重点目標や役割を理解し、各学校にて実践する。
- ・一人職との連携・協働を密にし、各学校への支援と学校園児童・生徒の実態を把握する。
- ・児童生徒指導連絡会の機能を生かし、児童生徒指導の充実を図る。
- ・中1ギャップの解消に向けて、小中間の引継ぎを充実させるとともに中学校入学を成長のチャンスと捉え、意欲的な生活が送れるよう支援の充実を図る。
- ・生徒会による母校でのあいさつ運動を実施し、小中間の交流を充実させる。

- ・小中交流事業において生徒一人一台端末の活用を推進する。

(3) 不登校対策

① 基本的考え

全ての生徒にとって居がいのある、温かい雰囲気 of 学級経営を行うとともに、学年の教職員が共通認識の下、役割分担をして生徒及び保護者に向き合う取組を推進する。また、SC・MS等との連携により必要に応じて別室登校の支援や関係諸機関へつないでいく。

② 主な取組

ア 学級担任を中心に学年及び教科担当の教員で、一人一人に対する関わりを役割分担し、状況に応じた的確な対応を行う。

イ WEBQUの結果や個別の教育相談を活用し、不登校の兆しの早期発見・早期対応に努める。

ウ 1人1台端末を有効に活用し、生徒の心の変化やSOSを早期に捉えて寄り添う支援を行う。

エ 校長、副校長、生徒指導主事が生徒指導部会と教育相談部会の両方に参加し、生徒の状況を的確に把握し、校内で共通理解を図り組織的に対応する。

オ 生徒の状況に合わせて、教室以外の場を利用した別室登校支援を行うとともに、市の教育センターをはじめとする各種関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた迅速な対応に努める。

(4) GIGAスクール構想

① 基本的な考え

ICTを活用することを通して、指導の個別化と学習の個性化を図り、全ての生徒に対して、個別最適化された学びを実現する。

② 主な取組

ア すべての生徒、教職員が端末を文具の一つとして、授業の内外で日常的に活用することから始め、授業における共同学習ソフトを活用したり、探究的な学びを促進したりするなど、段階的に活用を進める。

イ 教職員は、ICTを日々の授業や校内研修等で積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。

ウ 共同学習支援ツールの、共同閲覧や共同編集等の機能を活用し、生徒の多様な考えの比較・検討や学び合いにより「協働的な学び」の充実を図る。

(5) 宇都宮学

① 基本的な考え

陽北地区を始め宇都宮の歴史や伝統文化についての理解を通して、宇都宮の良さや特徴に気づき、郷土への愛情や誇りに思う態度を養うとともに、郷土の未来について進んで考えていこうとする態度を養う。

② 主な取組

ア 学習の効果を高めるため、各教科等との関連を図りカリキュラム・マネジメントに努める。

イ 陽北地域学校園における連携をさらに深め、地域の人材や資源を有効に活用した授業に取り組む。

ウ 宇都宮学で学んだことをもとに、地域に貢献できる活動や、地域への発表活動等につなげる。